

令和4年度事業報告

令和4年度は、コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、感染症対策に努めるとともに県連合会と一体となりシルバー事業の普及啓発と会員の入会促進に努めました。以下、令和4年度事業について次のとおり報告いたします。

1 会員の状況

年度当初の会員数は947人、年度中における入会が109人、健康その他の理由で退会した会員は142人で年度末会員数は914人となり33人減少いたしました。

2 事業実績

請負では、配分金242,379,635円、件数が4,074件（前年度244,798,192円、4,222件、対前年比：配分金1.0%減、件数3.5%減）、契約金額280,283,251円（同281,906,569円、0.5%減）といずれも前年度を下回りました。

一方、労働者派遣事業では、派遣会員賃金128,859,043円、件数191件（同123,767,853円、182件 対前年比：賃金4.1%増、件数4.9%増）、派遣契約金額162,253,348円（同155,899,240円 4.1%増）と前年度を上回りました。

3 就業の状況

就業実人員は731人（前年度756人 対比3.3%減）、就業延日人員81,659人（同84,190人 3.0%減）、年間就業率80.0%（同79.8% 0.3%増）となりました。

4 第3次中期計画の推進と第4次中期計画の策定

センター事業の発展を図るため、平成30年度から令和4年度迄の5年間の計画を推進いたしました。また、新たに令和5年度から令和9年度までの第4次中期計画を策定しました。

令和4年度実績

会員数	914人
就業率	80.0%
契約高	4億4千253万円

令和4年度末数値目標

目標値	1,000人
同	84.0%
同	4億5千万円

5 入会の促進

- ① 原則毎月第2・4水曜日、センターにおいて入会説明会を開催いたしました。
- ② 県連合会主催の講習会を活用し、入会を勧めました。
- ③ ホームページの仮会員登録により入会を促進しました。
- ④ ハローワークと連携し出張相談を、毎月第2、第4金曜日に実施いたしました。

6 就業機会の確保と普及啓発事業の推進

(1) 就業機会の確保

- ① 会員一人ひとりが「困ったことがあったらまずシルバーへ」の合言葉により仕事の開に当たりました。
- ② 就業を通じて口コミで仕事の開拓に当たりました。
- ③ ホームページにより仕事の依頼を受付いたしました。

(2) 普及啓発事業の推進

- ① 市広報やマスコミへ情報の提供を行ないました。
- ② ホームページ等を活用し、センター事業をPRいたしました。
- ③ 県連合会主催の講習会を活用し、シルバー事業を啓発いたしました。

7 安全就業の推進

- ① 県連合会と連携し、派遣運転技能講習を実施し安全意識を高揚させました。
- ② 当センター独自の安全講習会や、県連合会と連携し安全パトロールを実施しました。
- ③ 請負で傷害事故は7件（前年度11件）、賠償責任事故は7件（前年度6件）と傷害事故は減少しましたが賠償責任事故は増加しました。また、派遣では労災事故は3件（前年度3件）、賠償責任事故は0件（前年度3件）と賠償責任事故は減少しました。
- ④ 事故発生時に、状況を確認し原因と事故防止へ職群リーダーを通じ会員へ周知徹底しました。また、刈払い機を使用する業務に従事する会員に対して、外部機関が実施する安全教育講習の受講を義務付け15名が受講しました。
- ⑤ 熱中症対策として、センター玄関に「熱中症特別警報」を表示し注意喚起するとともに、熱中症アラート発表時には、午前中での作業の切り上げを周知しました。
- ⑥ 小松市と包括連携協定を締結している大塚製薬株式会社と、北陸体力科学研究所の研究顧問で医学博士の方を講師に迎え、熱中症の医学的メカニズムや対策について講義を受けました。

8 適正就業の推進

- ① ローテーション就業を推進し多くの会員が就業出来るよう工夫いたしました。
- ② 県連合会と連携し労働者派遣事業を推進いたしました。
- ③ 毎月第3水曜日に就業相談会を開催し、会員の就業を推進いたしました。

9 高齢者活用・現役世代サポート事業の実施

人手不足分野に会員を派遣し地域や事業所の要望に応えました。

10 独自事業の推進

(1) スマイルシニア農園の推進

農園で栽培した野菜や加工品を道の駅、せせらぎの郷等で販売し、981,508円（前年度931,400円 対比5.4%増）を売り上げました。

(2) その他の事業の実施

- ① 和服リフォーム品等を道の駅、海の駅やイベント等で販売し、674,511円（前年度681,017円 1.0%減）を売り上げました。

- ② 包丁研ぎを毎月第2土曜日にタウンオアシスで行い、22,200円（前年度18,100円 22.7%増）円を売り上げました。
- ③ しめ飾りを作り、961,107円（前年度952,727円 0.9%増）を売り上げました。

1.1 賛助会員制度の推進

シルバー事業について、54団体から理解と協力が得られました。

1.2 受注業務の迅速化

お客様からの信頼を得るため、受注から終業、請求に至るまでの迅速化を会員と一体となって取り組みました。

1.3 せせらぎの郷の運営

せせらぎの郷を指定管理者制度で効率的に運営し、全体の来場者数では80,854人（前年度63,305人 27.7%増）と増加しました。また、食育レストラン「ビュッフェ・こまつせせらぎ」には、来場者数では12,411人（前年度8,402人 47.7%増）と増加しました。しかし、コロナ前に比べ全体の事業収支ではマイナスになり、昨年度同様に小松市より指定管理委託料を750万円増額補正していただきました。

なお、せせらぎの郷については、当センターが平成29年4月から指定管理者として運営してきましたが、今年度末で2期目の任期満了となりました。これに伴い次年度からの指定管理につきまして、市の公募による選定から漏れ、令和5年3月末をもって指定管理者の業務を終了することとなりました。